

## 平成29年度1月（第10回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 平成30年1月24日（水）午前10時00分から午前11時30分

場 所 雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）第2会議室

出席者 ・山野義一教育長 ・徳永 卓教育長職務代理者  
・平山田鶴子委員 ・中村妙子委員 ・森下祐樹委員  
・事務局（坂本教育次長、小松総務課長、下田学校教育課長、  
前田生涯学習課長、久保田スポーツ振興課長  
総務課関課長補佐（書記））

欠席者 なし

### 会議日程

#### 第1 前回会議録の件

#### 第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

#### 第3 付議事項

- ・議案第29号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について  
(平成29年度一般会計補正予算（第6号）について)
- ・議案第30号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について  
(平成30年度一般会計当初予算について)

#### 第4 その他

- ・第2回総合教育会議について
- ・次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

## 教育長が平成29年度1月（第10回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

### 日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、第9回定例会会議録署名委員に徳永教育長職務代理人及び中村委員を指名する。

事務局

- ・定例会会議録を読み上げ提案する。

教育長

意見、質問がないことから第9回定例会会議録の承認を宣言する。

### 日程第2 報告事項

#### (1) 教育長報告

教育長が月例報告について説明、報告する。

教育長

- ・意見、質問がないことを確認する。

#### (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画について

事務局

- ・各課別に説明する。

委員

- ・デジタル教科書の導入予定はあるのか。

事務局

- ・平成30年度予算で小中学校にデジタル教科書を導入するための予算を計上している。

デジタル教科書を使用して動画や音声、アニメーションなどで子どもの興味や理解を深める効果を狙っている。小学校では国語と算数、中学校では英語、数学、理科の導入を考えている。

委員

- ・電子黒板も導入するのか。

事務局

- ・現在、電子黒板は各学校に2～3台導入しているが、移動や事前の準備が大変であるため、2ヵ年計画で各普通教室に1台を設置する計画である。

次の学校訪問での愛野小学校では、電子黒板・デジタル教科書を活用した授業を視察する予定である。

教育長

- ・学校教育課から説明があったが、県立・私立中学校へ毎年30名程が進学している状況について、委員より意見はないか。

委員

- ・小学校在職時に、年度によっては4～5人の県立中学校進学者があった。中学校1年生で環境が変わるなかで、リーダー性のある生徒が抜けることで、人間関係の形成や生徒会活

動、部活動などで現場は悩みが多かった。

委員

・遠距離通学となり、家族への負担が大きくなる。生徒自信も長時間の通学等によりかなり疲れるとの話を聞いた。

委員

・雲仙市学校支援会議研修会の参加者及び研修内容は。

事務局

・学校支援会議の充実や活性化を図るため、今年度初めて市内小中学校 27 校の教職員、保護者、学校支援会議の関係者参加のもと開催した。学校支援会議の意義や目的、県から指定を受けている南串中学校での取り組みを発表した。

委員

・最近コミュニティスクールのお話を聞くが、今後も学校支援会議が意義あるものとなってほしい。地域の方がどれだけ目を向けるかが大事。

事務局

・コミュニティスクールのこともあるので、その推進に向けての取り組みも加えながら研修をしていきたい。

委員

・第 4 回小浜体育館建設検討委員会が開催されているが、進捗状況を教えていただきたい。

事務局

・現体育館の現状と課題、新体育館の規模、建設予定地や近隣施設との集約化について検討・協議がなされている。第 4 回で第 1 回から第 3 回までの意見を集約してまとめた意見書を 1 月 25 日に教育長へ提出することとなっている。

事務局

・教育委員会の方針案を基にして協議していただいた。建設予定地はマリーナ 3 番地 1、公立小浜病院の横に建設する予定。メインアリーナに加え、サブアリーナを建設することが、今までの雲仙市の体育館になかった特徴。

バスケットコートがメインで 2 面、サブで 1 面の合計 3 面、6 人制のバレーボールについてはメインで 3 面、サブで 1 面の合計 4 面での競技が可能。

面積は吾妻体育館と同程度か若干小さいくらいであるが、吾妻体育館は 2 階に武道場を建設しているので、延べ面積は広くなる。

面積が小さい理由として、小浜体育館は九州大会や県大会を誘致して街の賑わいを創出しようという目的があり、サブアリーナを造ることで多くの競技場所を確保できるとため 2 階を吹き抜けにした。延べ面積は小さいように感じられるが、1 階の床面積はほとんど変わらない。吾妻体育館と並ぶ代表的な体育館として、建設に向けて教育長、スポーツ振興課長と共に進めていきたい。

委員

・小浜体育館が今後どうなるのか気になっていた。温泉街は人通りが本当に少なくなってきており、観光地でもあるので集客も兼ねていろんな人が楽しめるような施設になってほしい。毎年開催される剣道大会では、暑い中駐車場にテントを張って待っている様子を見て、非常に不便にされていると感じていた。

## 事務局

・駐車場は現体育館を解体して、サブ駐車場とする。道向かいの市有地で発電をしているところがあるが、その周辺もサブ駐車場として整備し概ね380台の駐車ができるようにする。検討委員会では、1階部分を駐車場にするような意見も出ている。

## 委員

・島原半島地区別対抗駅伝競走大会で雲仙市内のチームが減少している。一つの理由として、愛野町、吾妻町、瑞穂町においては、愛野中学校陸上部は活発に活動しているが、吾妻中学校と瑞穂中学校は陸上部がなく、また保護者年代にも陸上部の方がいない。雲仙市陸協の一般部員は愛野町3名、吾妻町2名、瑞穂町2名であり、そのなかで選手確保はなかなかできない。距離を短くして少しでも多くのチームの参加をと思って進めているが難しい。もともとあった千々石町まで出場できないといった状況。伝統のある大会なので、続けていきたいという思いがあるが厳しい。

## 教育長

・各課の取り組み状況の説明について、ほとんどが行事等のお知らせとなっている。総務課よりデジタル教科書について、学校教育課より学校の統廃合について説明があったが、他課においても事業等の取り組みを説明してほしい。懸案事項や課題について教育委員に説明し、教育委員と事務局との共通理解を図るようにしたい。

他に、意見、質問がないことを確認する。

### (3) 各課からの報告

・報告なし

## 日程第3 付議事項

- 1、議案第29号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について  
(平成29年度一般会計補正予算(第6号)について)

### 事務局

・議案により説明

### 教育長

・意見、質問がないことから承認を宣言する。

- 2、議案第30号 議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について  
(平成30年度一般会計当初予算について)

### 事務局

・議案により説明

### 教育長

・意見、質問がないことから承認を宣言する。

#### 日程第4 その他

- 1、第2回総合教育会議について、議題・資料等について確認する。
- 2、平成30年2月28日（水）午後3時30分から1月定例会を雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）第2会議室で開催することを確認する。

#### 教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、平成29年度12月（第9回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。